

令和4年度 岡谷市 予算編成の大要

令和4年2月

岡 谷 市

令和4年度の岡谷市当初予算案及び関係議案を議会に提出し、ご審議をいただくにあたり、予算編成の方針及び大要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

令和4年度は、「**第5次岡谷市総合計画**」の4年目であり、前期基本計画も残すところ2年となることから、これまでの取組の成果をさらに積み重ねるとともに、後期基本計画の計画期間となります次の5年間を見据えながら、基本目標の達成と将来都市像であります「**人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷**」の実現に向けて、着実に歩みを進めていかななくてはなりません。

本市の人口動態は、出生数の減少と転出超過が進行し、人口減少が続く状況にあることから、未来を担う子どもたちを地域で育てる意識をまち全体で共有するとともに、安心して結婚、妊娠、出産、子育て、教育ができる環境整備を進める必要があります。

さらに、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の感染拡大を契機とした地方暮らしへの関心の高まりを始め、デジタル技術を活用した柔軟な働き方や新しい暮らし方など、未来に向けた大きな社会環境の変化にスピード感を持って対応しながら、地域の特長、特色を最大限に活かした、夢と希望があふれる魅力的なまちづくりをこれまで以上に力強く推進することが急務となっています。

一方、市民生活や地域経済に甚大な影響を及ぼしている感染症については、新たな変異株であるオミクロン株が急激に拡大している中、引き続き、感染防止に万全を期すとともに、事業活動の継続と雇用の維持、生活の下支えのための重点的かつ効果的な支援策を講じ、市民の暮らしを守らなければなりません。

また、令和3年8月の大雨により被災した道路、河川や農林施設の復旧復興については最優先に取り組むとともに、激甚化、頻発化する自然災害に備えた防災・減災対策についても、より一層注力し、安全で安心な暮らしの実現に向けた取組を加速していく必要があります。

こうしたことを踏まえ、令和4年度は「**安全・安心を深化（進化）する年**」と位置づけ、市民生活を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら、将来にわたって持続可能で、将来のまちに多くの夢と希望を描くことができる、確かなまちづくりを進めるため、各種の施策、事業に全力を傾注して取り組んでまいります。

令和4年度のわが国の経済情勢は、内閣府が公表した「令和4年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によりますと、長引く感染症の影響のもとにあるものの持ち直しの動きがみられるとし、今後の経済財政運営にあたっては、ウィズコロナのもとで、社会経済活動の再開・継続を図りつつ、安全・安心を確保していくとともに、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を迅速かつ着実に実施し、公的支出による下支えを図りつつ、消費や設備投資といった民需の回復を後押しし、経済を民需主導の持続的な成長軌道に乗せていくとしております。

また、岸田内閣は、経済の立て直しと財政健全化に向けて取り組んでいくうえで、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとする新しい資本主義の実現をめざすとし、「科学技術立国の実現」、地方を活性化し世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」、「経済安全保障」を3つの柱とした大胆な投資とともに、ポストコロナ社会を見据えた成長戦略を国主導で推進し、経済成長を図るとしております。

加えて、地方活性化に向けた基盤づくりへの積極的な投資、デジタル時代にふさわしい効果的な人材育成、質の高い教育の実現、2050年カーボンニュートラルをめざすグリーン社会の実現に取り組むとしております。

このほか、「経済財政運営と改革の基本方針2021」に基づき、「経済あつての財政」の考え方のもと、デフレからの脱却を成し遂げ、経済再生と財政健全化に向けてしっかりと取り組み、600兆円経済の早期実現と財政健全化目標の達成をめざすとしております。

このような見通しに基づく「令和4年度予算編成の基本方針」では、感染症の克服に向け、国民を守る医療提供体制や検査体制の確保、変異株を含む新たなリスクに対する備えのためのワクチン・治療薬の研究開発、雇用・事業・生活に対する支援等を推進するほか、成長と分配の好循環を実現するため、成長戦略、分配戦略などに基づき予算を重点配分するとしております。

また、各地の災害からの復興・創生や防災・減災、国土強靱化等に対応するとともに、現下の国際情勢に的確に対応し、国家の安全保障をしっかりと確保するとしております。

こうした方針に基づく国の令和4年度当初予算案は、一般会計の歳出総額を107兆5,964億円としており、過去最大の予算規模となっております。

また、総務省が公表した「令和4年度地方財政対策」によりますと、地方団体が行政サービスを安定的に提供しつつ、地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化などの重要課題に取り組むことができるよう、地方交付税については前年度を約6,153億円上回る1兆8,538億円を確保するほか、交付団体ベースの一般財源総額については、前年度を約2,030億円上回る6兆2,135億円を確保することとしております。

地方が抱える課題をデジタル実装を通じて解決し、すべての地域がデジタル化によるメリットを享受できるよう「地域デジタル社会推進費」として、引き続き2,000億円を計上したほか、地方が自主的・主体的に地方創生に取り組むための「まち・ひと・しごと創生事業費」として1兆円を計上しております。

このほか、近年、災害が激甚化・頻発化する中、地方団体が引き続き、防災・減災、国土強靱化対策に取り組めるよう「緊急自然災害防止対策事業費」について4,000億円を計上するなど、地方が行う取組に対し、一定の財政措置がされたものとなっております。

こうした考え方に基づく地方財政計画の規模は、前年度比0.9%増の9兆5,700億円程度、公債費などを除く地方一般歳出につきましては、前年度比0.6%増の7兆8,500億円程度が見込まれております。

このような状況を踏まえ、岡谷市におきましては、地域経済の緩やかな回復傾向がみられることから、個人給与所得の増などにより、個人市民税、法人市民税をはじめ、市税全体で増収を見込んでおります。

しかしながら、令和5年度以降の一般会計の財政推計では、歳入全般の減のほか、歳出においては扶助費や公債費、また、公共施設等の維持管理経費の増が見込まれる中、引き続き、産業振興や子育て支援、市民の安全・安心を確保するための施策と、健全財政の堅持に向けた取組との調和を図りながら、後年度の財政需要に配慮した安定的な行財政運営に努めなければなりません。

こうしたことから、「岡谷市行財政改革プログラム」に基づき、公共施設等の計画的な修繕や長寿命化、類似施設の統合などによる最適化に向けた取組のほか、歳入確保と歳出削減、人材育成と意識改革など、たゆまぬ行財政改革に取り組む、人口規模や財政規模に見合った、時代にふさわしいまちづくりを進めてまいります。

この度上程いたします令和4年度当初予算案は、「第5次岡谷市総合計画」に

掲げる将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、

- ・ともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- ・未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- ・人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- ・安全・安心で、自然環境と共生するまち
- ・快適な生活を支え、住み続けたいまち
- ・みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

の6つのまちづくりの基本目標を基調とするほか、限られた財源を喫緊の政策課題に重点配分し、より効果的な施策展開を図るため、

- ・安全・安心な暮らしの実現
- ・まちなかの魅力向上
- ・元気・活力の創出

の3つを重点施策に掲げ、必要な施策・事業に財源を集中した「元気 創生 強靱化予算」として編成しております。

あわせて、国が閣議決定しました「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を踏まえ、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を一体とした「14か月予算」として編成をしております。

次に、予算編成の「重点施策」の考え方について、説明申し上げます。

はじめに「安全・安心な暮らしの実現」につきましては、令和3年8月の大雨による被災箇所への復旧復興を最優先に進めるとともに、令和4年度を初年度とします「岡谷市国土強靱化地域計画」を計画的に推進し、激甚化、頻発化する自然災害に対する、防災・減災対策を強化し、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

また、現在、国際的な課題であります地球温暖化による異常気象の影響が深刻化していることから、岡谷市は、令和3年度中に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに、二酸化炭素排出量の実質ゼロをめざしてまいります。このため、「第4次岡谷市環境基本計画」及び「第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民、事業者、行政が連携・協力のもと、その実現に取り組んでまいります。

さらに、感染症への対応として、3回目のワクチン接種を継続的に進め、危機管理に万全を期すとともに、引き続き、市民の命と暮らしを守るため、感染拡大

防止と社会経済活動の両立を図ってまいります。

このほか、いつまでも住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って暮らし続けることができるよう、福祉の充実に取り組んでまいります。

次に「**まちなかの魅力向上**」につきましては、出生数の減少と転出超過が進行し、人口減少が続く状況にある中、感染症を契機として都市部の若い世代の地方への関心が高まっていることから、住んでみたい、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを推進してまいります。

次に「**元気・活力の創出**」につきましては、本市の基幹産業であります製造業では回復傾向が続いているものの、半導体などの原材料不足や原油価格等の高騰により、計画的な生産が進まず先行きに不透明感があることから、引き続き、事業活動の継続、雇用の維持などにより、地域経済の回復を図るとともに、市内事業者の持続的な成長を後押ししてまいります。

また、未来を担う子どもたちを地域で育てる意識をまち全体で共有するとともに、安心して結婚、妊娠、出産、子育て、教育ができる環境を整えてまいります。

これら重点施策に基づく令和4年度の一般会計当初予算額は、**総額201億9,000万円**、前年度比では**3億8,000万円**、**1.9%の増**としております。

また、一般会計・特別会計の合計では、**総額259億9,190万円**、前年度比では**3億5,880万円**、**1.4%の増**としております。

一般会計歳入の主な事項でございますが、市税につきましては、令和3年度決算見込額を基に**65億1,800万円**、前年度比では**3億1,600万円**、**5.1%の増**を見込んでおります。

地方交付税につきましては、令和3年度決算見込額や地方財政計画などを基に**45億4,200万円**、前年度比では**4億5,600万円**、**11.2%の増**を見込んでおります。

また、一般会計歳出のうち、事業費の増減が大きいものとしたしましては、**総務費**では、岡谷駅前公共用地権利取得事業費が皆減となる一方、長野県知事選挙執行費の皆増、退職手当の増などにより、前年度比**1億1,109万9千円**、

6. 0%増の19億5,092万4千円、民生費では、児童手当などが減となる一方、障がい者自立支援給付費、介護保険広域連合運営費負担金の増などにより、前年度比7,952万8千円、1.1%増の71億6,479万8千円、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の皆増、病院事業会計負担金の増などにより前年度比3億1,269万2千円、19.1%増の19億4,778万円、商工費では、中小企業金融対策事業費の減などにより前年度比3億173万3千円、14.6%減の17億6,285万円、土木費では、河川災害防止対策事業費、地域幹線道路整備事業費などが増となる一方、道水路維持補修事業費、道水路新設改良事業費の前倒し実施に伴う減などにより、前年度比8,514万7千円、4.2%減の19億5,917万2千円、教育費では、市民水泳プール大規模改修事業費、公民館施設避難所環境改善事業費の皆増などにより、前年度比2億929万4千円、13.3%増の17億7,937万5千円、災害復旧費では、令和3年8月の大雨災害に伴う林道施設災害復旧事業費として、前年度比皆増となります2億2,930万円、公債費では、借換債元金償還金の減などにより、前年度比1億3,316万円、5.6%減の22億4,250万5千円としております。

次に、企業会計につきましては、水道事業・下水道事業・病院事業の3つの企業会計の収益的支出及び資本的支出の合計は129億8,133万円で、前年度比704万1千円、0.1%の減としております。

それでは、基調に沿って、令和4年度当初予算案の概要を順次説明してまいります。

はじめに、基本目標『ともに支えあい、健やかに暮らせるまち』について説明申し上げます。

まず、**結婚に対する支援**といたしまして、新たな男女の出会いの場を創出するため、**恋つむぐ岡谷 出会いの場 創出事業**として、コロナ禍に対応したオンラインによるブラッシュアップセミナー及び婚活イベントを開催してまいります。

また、結婚に対する経済的な不安を解消するため、結婚に伴う住居費及び引越費用を支援する、**おかやでスタート 結婚新生活支援事業**につきましては、新たに住環境の整備に係る経費としてリフォーム費用を補助対象経費に加え、引き続き、結婚のきっかけとなる男女の出会いの場の創出から、結婚・定住までトータル的にサポートしてまいります。

母子保健の充実といたしましては、産後の初期段階における支援を強化するため、産後2週間及び産後1か月の産婦を対象とする**産婦健康診査事業**、また、その結果によりケアが必要な母子が、医療機関等で母体管理、発育相談などのサービスを受ける際の経費を助成する**産後ケア事業**を実施するほか、新たに**3歳児健診における視力屈折検査**を導入し、未就学児の弱視の早期発見・早期治療につなげるなど、引き続き、妊娠から出産、乳幼児期までの切れ目のない包括的な支援を実施してまいります。

また、**未来のげんきっず応援事業**では、出産のお祝いとして、オカヤペイ5,000ポイントを贈呈するほか、こどものくにの来館者、各種の子育て関連講座の参加者にポイントを付与することで、子育て世帯の経済的負担の軽減とオカヤペイのさらなる利用促進に努め、まちのにぎわい創出を図ってまいります。

地域とともに支える子育て支援の充実といたしましては、新たに児童福祉法に基づく**子ども家庭総合支援拠点機能**を子ども課に置き、子どもとその家庭に関する実情把握、情報提供、調査指導、その他必要な支援を一体的に行い、子育て支援体制のさらなる強化を図ってまいります。

このほか、**子ども食堂等関係団体連絡会事業**として、子どもたちの孤立や孤食

に手を差し伸べる民間主体の活動をさらに地域に広げるとともに、民間実施団体のネットワークを強化し、地域全体で子どもを育てる風土の醸成と子どもの健やかな成長を支援してまいります。

子どもの育成支援といたしましては、**保育環境改善等事業**として、保育園などにおける感染防止を徹底するため、手指消毒用アルコール、子ども用マスクなど、必要な資材、備品等を整備してまいります。

このほか、継続実施いたします、**ぼくもわたしもおかやっ子事業**では、郷土食材の素晴らしさを子どもたちに伝承するとともに、食育の推進を図ってまいります。

子育て世帯への**経済的支援**では、中学3年生までの子どもの医療費を支援する**子ども医療費給付事業**、幼児教育・保育の無償化に伴う**副食費の減免**、小中学校における**就学援助費**などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めてまいります。

このほか、安心して子どもを育てられる安定した住まいの提供を図るため、子育て世帯等を対象に、**市営住宅への優先入居**を行うとともに、令和4年度は、新たに学ヶ丘市営住宅の2戸にユニットバス、網戸を設置し、経済的負担の軽減と若年層の移住・定住を促進してまいります。

地域福祉の推進では、新たに**重層的支援体制整備移行準備事業**として、複合化・複雑化する支援ニーズに対応する、断らない包括的な支援体制を整備するため、**連携支援コーディネーター**を配置し、アウトリーチ支援に取り組むとともに、関係機関との連携体制を構築してまいります。

また、新たに実施します**農福連携による協働体験事業**では、就労準備支援またはひきこもり支援を必要とする方に対して、シルクスイートの栽培・収穫体験を通じて、実就労等社会活動への復帰を支援してまいります。

さらに、DVや児童虐待などに関する相談が増加傾向にあり、内容も多様化・複雑化していることから、新たに**女性相談員**を配置し、より身近で、継続的に支援することができる体制を整えてまいります。

このほか、**成年後見支援センター**を中心に成年後見制度の利用促進を図るとともに、**権利擁護事業推進体制**のさらなる充実を図るため、市と成年後見支援センターが協働して中核機関としての役割を果たし、市民誰もが住み慣れた地域

で安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

高齢者福祉の推進といたしましては、**地域支え合い型移動支援**として、高齢者の通院や買い物、通いの場への移動を支援しようとする地域住民の活動に対して、送迎サービス補償の加入保険料を全額補助することで、住民主体による支え合い活動を後押ししてまいります。

また、新たに**福祉タクシー利用促進事業**として、運転免許証を返納した満80歳以上の市民に対して福祉タクシー10回分の利用券を交付し、高齢者のより安全な生活移動手段への転換を促すとともに、外出機会の確保に努めてまいります。

さらに、高齢者の心身の多様な課題に対して、きめ細やかな支援を実施するため、**高齢者の保健事業と介護予防等の一体的事業**として、個々の健康状態に応じた運動習慣や食習慣などの個別指導を行う「シニア運動療法教室」を開催するほか、高齢者のフレイル予防を図るため、地域の通いの場において医療専門職による講座の実施や健康相談などに取り組んでまいります。

障がい者（児）福祉の推進といたしましては、「第5次岡谷市障がい者福祉計画」に基づき、地域生活支援の充実、自立支援と社会参加の促進、暮らしやすい環境の整備など、障がい者施策の一層の推進を図り、障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の形成をめざしてまいります。

社会保障の円滑な運営といたしましては、**国民健康保険事業**について、財政運営の責任主体であります長野県とともに国保の運営を担い、安定的な財政運営に努めてまいります。

こうした中、令和4年度の税率につきましては、被保険者の急激な負担増とならないよう基金繰入を行いつつ、県から示されました標準保険税率に基づき、ひとり当たり平均年税額において、0.05%増の改定をお願いすることとしております。

生活保護に至る前の段階での自立支援の強化を図る**生活困窮者自立支援事業**では、自立相談支援を核に、就労支援、住居確保支援、家計改善支援など、それぞれの状況に応じたきめ細やかな相談、対応を行い、生活困窮者の自立に向けて幅広く支援してまいります。

このほか、心配ごと相談、消費生活相談、ひとり親家庭相談など、生活に関する多様な相談窓口を一元化した**福祉総合相談事業**を継続し、それぞれの事情に応じて専門の相談員が丁寧な対応を行ってまいります。

保健・医療の推進では、**健康づくりの推進**といたしまして、感染症の影響が長期化する中、外出控えにより体力の低下や生活習慣病の重症化など、市民の健康状態の悪化が懸念されることから、**健康増進計画 健活プロジェクト**として、健康講座や音楽と運動による健康サポート事業を実施するほか、シルキーチャンネルを活用して世代別の料理番組を放映するなど、市民の健康の保持と増進を図ってまいります。

また、市民の健康に対する意識の高揚や各種健診の受診率向上を図るため、受診者及び健康づくりに関する講演会の参加者のほか、生きがいデイサービス利用者や高齢者クラブ新規登録者に対して、オカヤペイのポイントを付与する**健康ポイント事業**を継続実施してまいります。

地域医療体制の推進といたしまして、岡谷市病院事業では、天野病院事業管理者のもと、「**安定的な経営基盤の維持**」を第一とし、「**人材育成**」、「**質の高い医療サービスの提供**」に向けた積極的な病院運営を進め、市民の生命と健康を守る市民病院として、また、第2種感染症指定医療機関として、地域の拠点的な役割を果たしつつ、コロナ禍にあっても質の高い医療サービスを継続的に提供し、市民の信頼や期待に応えることができる病院づくりを推進してまいります。

また、診療体制の充実に不可欠な医師の確保につきましては、病院事業管理者とともに、引き続き、信州大学医学部等への訪問を重ね、関連大学との連携を深めるほか、医師養成課程向けの育英資金奨学金の効果的な活用を進めてまいります。

このほか、岡谷市看護専門学校におきましては、国の「**高等教育の修学支援新制度**」に基づき、一定の要件に該当する学生の入学金及び授業料を減免し、これからの地域医療を支える人材の育成に努めてまいります。

続きまして、基本目標『**未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち**』について説明申し上げます。

岡谷市教育大綱に教育理念として掲げます「**自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり**」の実現に向けて、子どもたちの確かな学びと成長の支えを実現し、豊かな感性と人間性を育みながら、家庭・学校・地域・行政の協働により「岡谷のひとづくり」を推進してまいります。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりに取り組んでまいります。

学校教育の推進では、市内小中学校において少子化が進行する社会に適応した豊かな学びを推進するため、教育委員会に**岡谷市学びの創生・連携支援室**を設置し、幼保小中の連携及び小中一貫教育の検討、教育ICTを活用した豊かな学びの推進などに取り組み、魅力と活力ある学校づくりをさらに推進してまいります。

学校内における感染症対策に係る業務や教員の補助的業務を行う**スクール・サポート・スタッフ**を県の配置基準に満たない4校へは市費にて配置いたします。このことにより、県費職員とあわせ市内全校に**スクール・サポート・スタッフ**を配置することができ、教員の負担軽減を図るとともに、教員が子どもたちと向き合い、指導に専念することができる環境を整えることで、より質の高い授業の実現と学力向上に努めてまいります。

新たに実施します**おかや小学生 夏休みわくわくサマースクール事業**では、学校教員が行う補習「**スキルアップ学習**」、教育委員会が行う科学教室「**おかやキッズラボ**」及び小学5年生を対象とする「**岡谷子ども未来塾**」を教育委員会と学校が連携して実施し、子どもたちの学習習慣の形成を促し、苦手意識の解消、基礎的学力の向上を図ってまいります。

チーム岡谷による学力向上推進事業につきましては、引き続き、長野県教育委員会からの派遣により配置する主任指導主事のほか、学力向上アドバイザーを中心として、児童・生徒の学力向上と教職員の資質向上をめざしてまいります。

学校・家庭双方向通信アプリ導入事業では、小中学校において保護者への連絡用ツールとして使用しているシステムを更新しデジタル化を進めることで、迅速・的確な情報提供と、家庭からの必要な情報の把握及び学校事務の効率化を図ってまいります。

ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業では、地元企業と連携したプログラミング学習やキャリア教育など、地域資源を活用した岡谷スタンダードカリキュラムの実践を深め、郷土を愛する心を育み、ふるさと回帰につなげるとともに、将来のものづくりのまち岡谷を担う人材育成に努めてまいります。

さらに、**情報教育推進事業**として、国のGIGAスクール構想により整備した1人1台端末を効果的に活用し、情報活用能力の向上に加え、子どもたちの創造性と資質・能力を育み、激動する社会を生き抜く力の定着を図るため、児童生徒一人ひとりに個別最適化された学びの実現に向けて一層注力するとともに、万が一の事態に備え、休校時の活用についても検討、準備を進めてまいります。

施設整備では、**安全で快適な学習環境整備事業**として計画的に進めております**学校トイレの洋式化等**については、令和4年度は岡谷南部中学校のトイレの洋式化に取り組み、安全・安心で快適な学習環境を整えてまいります。

子ども総合相談センターでは、長期欠席傾向にある児童・生徒の自立に向けた努力を支援するフレンドリー教室、中間教室を引き続き設置するほか、専任の相談員、専門カウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどにより、保育園、学校、専門機関などと連携しながら、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を行ってまいります。

通学路交通安全対策事業では、新たな「第4次通学路交通安全プログラム」に基づき、カラー舗装や区画線、ガードポスト等の設置など、通学路14箇所の安全対策工事を実施し、子どもたちの安全を確保してまいります。

生涯学習の推進では、人生100年時代を豊かなものにするため、新たに**学びを活かす岡谷学 コレカラ岡谷事業**として、地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供するとともに、その学びを地域で還元し後世に伝承することができるひとづくりに取り組んでまいります。

市立岡谷図書館では、市民がより自由に図書館サービスを受けることができるよう、市町村と県との協働による**電子図書館**を整備し、デジタル社会への対応を図るほか、地元紙のデータベースを導入し、利用者が望む資料の検索時間の大幅な短縮と業務の効率化を図ってまいります。

また、幼児期からの図書館利用を促進するとともに、就学前における読書習慣の定着と読書を通じた豊かな感性の醸成を図るため、3歳児を対象にイラスト付きの図書館利用カードをプレゼントする**ファーストチョイスブック事業**を実施し、初めて自分で本を選び借りる機会と楽しみを創出してまいります。

このほか、「**おかや子育て憲章**」が制定から20周年を迎えることから、記念事業として子育て講演会を行うほか、成長樹（期）子育て実践ポイントの見直しを行い周知に努めることで、憲章の浸透を図り市民総参加による子育てのまちづくりを推進してまいります。

スポーツ・文化の振興では、**スポーツの振興**といたしまして、市民がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことで、多様な形でスポーツに関わり、スポーツを通して心と体を養い、はつらつとした暮らしを送ることができるよう、スポーツ機会の充実とライフスタイルに応じたスポーツ活動を推進してまいります。

ホストタウンプログラム推進事業として、東京2020オリンピック・パラリンピック大会後においても、継続した活力あるスポーツ活動へつなげるため、日本人オリンピックとの交流を通じて、スポーツへの関心を高め、生涯スポーツの推進を図ってまいります。

また、**パラスポーツ普及プロジェクト**として、パラリンピック競技でありますボッチャの体験を通じて、パラスポーツをより身近に感じてもらうとともに、相互理解の促進及び共生社会の実現をめざしてまいります。

スポーツきっかけづくり事業では、各種のスポーツ教室、親子でのスポーツ体験イベントとなるファミリースポーツプログラムに加え、新たに働き盛りのミドル世代を対象とした**ランニング教室**を実施し、コロナ禍における運動不足を解消してまいります。

このほか、スポーツ環境の整備・充実として、**市民水泳プールの大規模改修工事**に着手し、市民一人ひとりが安全で快適なスポーツ活動を行うことができるようスポーツ施設の長寿命化を計画的に進めてまいります。

文化・芸術の振興では、**岡谷蚕糸博物館企画展等開催事業**として、長野県内で活躍する染織作家にスポットを当てた「信州の作家展」の開催、また、岡谷市の市制施行当時の町並みを紹介する「鳥瞰図で巡る 糸都岡谷」などを開催することで、岡谷市民のみならず、より多くの皆様にシルクの良さとまちの魅力を伝え、

シルク文化・シルク産業の発展へつなげてまいります。

岡谷美術考古館では、**特別企画展等開催事業**として、地元ゆかりのある作家の多岐にわたるジャンルの企画展示を開催することで、質の高い芸術、文化に触れる機会を創出するとともに、来館者の増によるまちなかのにぎわい創出につなげてまいります。

また、**アーティスト育成事業**では、長野県出身及び在住、または岡谷市に関わる題材を扱う作家を対象として、作品や展示方法に関する助言を行うとともに、企画展示室を貸し出し個展を開催することで、意欲ある作家の活動を後押ししてまいります。

このほか、**公民館**においては、地域の社会教育活動の拠点になるとともに、災害時には避難所として重要な役割を担うことから、湊、川岸、長地公民館の全室にエアコンを設置し、快適で安全・安心な環境を整備してまいります。

続きまして、基本目標『人が集い、にぎわいと活力あふれるまち』について説明申し上げます。

産業の振興では、**工業の振興**といたしまして、4年目を迎えます「岡谷市工業活性化計画」に掲げる将来工業都市像「次世代を切り拓く、高い技術のものづくりのまち」の実現に向け、積極的に各種施策を展開してまいります。

企業立地の推進では、工場の新設・移転時に土地の取得額などを助成する**商工業振興条例補助金**の補助要件を緩和して実施するほか、工場等の家賃を助成する**企業立地支援補助金**などにより、市外企業の誘致をはじめ、市内企業の事業拡大と流出防止、空き工場の活用促進に取り組んでまいります。

また、新規創業者支援といたしまして、「創業支援事業計画」に基づく、起業、技術相談、販路開拓の支援や**創業のまち岡谷実現事業**による資金面での支援のほか、新規創業者に対して諏訪圏工業メッセの出展ブースを確保するなど、創業まもない中小企業者の経営基盤の確立や受注開拓を支援し、地域経済の活性化と産業集積の拡大を図ってまいります。

このほか、最終年となります**先端設備等導入計画認定事業**では、中小企業等経営強化法に基づき、生産性を向上させる先端的な設備を導入した認定事業者に対し、新たな設備投資に係る固定資産税を3年間ゼロとする特例措置を継続実施するほか、国の各種支援制度を積極的に活用できるよう、引き続き市内中小企業の環境整備に取り組んでまいります。

コロナ禍によりIT企業を中心とした企業の地方移転や多様な働き方が生じている中、**情報通信業企業立地支援補助金**として、市外から転入し事務所等を設置した情報通信事業者に対して、家賃や通信環境の整備に要する経費の一部を助成してまいります。

また、**多様な働き方サポート補助金**として、市内の民間事業者が運営するコワーキングスペースの利用料等の一部を助成することで、新たな出会いによるビジネスチャンスの創出を図るとともに、新たな人の流れを呼び込んでまいります。

工業活性化対策の推進では、精密加工技術を強みとして、少量多品種への対応や高付加価値製品の製造といった本市の製造業が持つ特長を最大限に活かすこ

とができるよう、新技術・新製品等の開発を支援する、**新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業**、医療分野や航空宇宙分野への参入に有効な規格の認証取得を支援する**次世代産業参入環境整備支援事業**を実施してまいります。

また、**展示会共同出展事業**として、大都市圏で開催される展示会へ共同出展するほか、**新規受注開拓推進事業補助金**に、新たに次世代産業販路開拓支援事業枠を設け、医療、航空宇宙、環境、エネルギーなど、次世代産業分野への販路開拓を行う企業を対象として、市場調査費、試作品製作費など、販路開拓に伴う諸経費の一部を助成することで、市内企業のPRと新たな受注確保に努めてまいります。

経営環境の充実では、新たに**DX推進 デジタル化ツール導入支援補助金**として、市内製造業のデジタル技術を活用した新たな取組を支援し、生産性向上や新規受注開拓などにつなげてまいります。

また、市内企業が持つ優れた技術や資産を将来へ引き継いでいくため、**事業承継支援事業**として、継続的に市内企業の訪問を実施する中で実態を把握するとともに、関係機関との連携により相談会の実施や事業承継に有益な情報の提供に努めてまいります。

このほか、新たに**グリーン成長投資促進支援事業**として、省エネ、ゼロカーボンに関するセミナー等を開催するほか、市制度資金に地球温暖化防止のための再生可能エネルギー利用設備や省エネ対策のための設備の導入費用を対象とする「おかやグリーン成長対策資金」を創設し、市内企業が自ら二酸化炭素の排出量の削減を図るための取組を支援してまいります。

連携の強化では、最終年となります**モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト**として、信州大学、公立諏訪東京理科大学、NPO諏訪圏ものづくり推進機構等と、諏訪圏内5市町村との連携により、引き続き小型ロケット製作を通じた技術力の向上と提案型技術者の育成、また、若者を対象としたキャリア育成プログラムの開発に取り組むほか、地域の製造業のプロモーション、ブランディングを強化し、稼ぐ力の向上を図ってまいります。

開館20周年を迎えます**テクノプラザおかや**では、ものづくりのまち岡谷を支えている市内企業に対して感謝の意を表するとともに、これからの岡谷市を担うものづくり人材を育成するための記念事業を実施してまいります。

商業・サービス業の振興といたしましては、「岡谷市商業活性化計画」に基づく諸施策を積極的に展開し、商業の将来像として掲げる「人が集い、暮らしに彩りと潤いがあふれ、楽しいがあるまち」の実現をめざしてまいります。

商業環境の立地競争力の強化を図るため、**商業等振興補助金**について、新たに市内で創業する飲食店に対して、店舗等の改修費に対する補助を拡充して支援することで、新規出店の促進とまちなかのにぎわい創出を図り、回遊性のある商業地の形成をめざしてまいります。

また、岡谷TMOとの連携を深める中で、商業会等が感染症対策を徹底した上で行う販売促進活動を積極的に支援するほか、商業会等の連携による取組を促進することで中心市街地のにぎわいを取り戻し、消費需要の喚起に努めてまいります。

このほか、岡谷版電子マネー**オカヤペイ**につきましては、岡谷商工会議所との連携を深めながら、行政ポイントの付与、消費者への利用促進などにより支援してまいります。

農業の振興といたしましては、市内農業者が大都市圏で開催されるマルシェ等に出展する際の経費や販促資材の製作に要する経費を助成する**農産物販路拡大支援事業**を継続実施し、農業経営の安定と販路拡大を支援してまいります。

また、新たに**岡谷・シルクスイートオーナー事業**として、遊休荒廃農地を整備したほ場を活用し、栽培・収穫体験など、生産過程を楽しみ、シルクスイートを受け取ることができる岡谷独自のオーナー制度を創設し、市外在住者からオーナーを募ることで、関係人口の創出につなげるとともに、全国にシルクスイートのおいしさをPRしてまいります。

森林の整備といたしましては、**森林経営管理事業**として、地域林政アドバイザーを中心にモデル地区の森林整備に向けた測量業務等を行い、森林の適切な管理につなげてまいります。

また、**松くい虫の防除対策**につきましては、引き続き松林の監視体制を強化するとともに、薬剤購入に要する経費を助成するなど、関係機関と連携しながら、被害の拡大防止に取り組んでまいります。

農林業の基盤整備といたしましては、**林道常現寺線の舗装工事**のほか、**西村汐**

の石積みの改修工事、八倉沢の農業用ポンプの更新工事を進めてまいります。

ブランドの振興といたしましては、製糸業で世界に名を馳せ、日本の近代化を支えた「シルク岡谷」、「糸都 岡谷」の歴史と文化を継承するとともに、岡谷ブランドの核となるシルクを活かしたまちのにぎわいを創出するため、**岡谷シルク推進事業**として各種の取組を展開してまいります。

まず、**ブランド発信事業**として、岡谷シルク認定製品・サービスの開発を促進することで、岡谷シルクブランドのブランド力向上を図るとともに、小学生を対象とした教育プログラムを開発、提供することで、「シルク岡谷」、「糸都 岡谷」の歴史、文化に関する知識の習得、また、ふるさと岡谷への誇りと愛着を醸成してまいります。

次に、**養蚕振興事業**として、養蚕体験を通じて養蚕業への理解と関心を深めるとともに、岡谷シルクの原料となる岡谷産繭の品質向上、安定供給に向け、市内製糸業者が岡谷産繭を購入する際に繭の買取価格に上乘せを行う補助事業を実施してまいります。

次に、**岡谷シルク体験事業**として、絹織物の体験機会を提供する滞在型ワークショップの開催、アーティスト・イン・レジデンスとして学生等が行うシルク作品の制作活動に対する支援、市内の製糸関連資産等を巡るまちあるき事業など、岡谷でしか体験することができない、シルクを活かしたプログラムを提供することで市外から多くの人を呼び込み、交流人口、関係人口の創出・拡大を図ってまいります。

観光の振興では、本市を代表する市民祭**岡谷太鼓まつり**については、感染症の影響により残念ながら2年続けての中止といたしましたが、今年は開催できることを願いつつ、来場される皆様と3年分の熱気と楽しみを共有することができるよう準備を進めてまいります。

このほか、鳥居平やまびこ公園や整備が進んでいます諏訪湖周サイクリングロード、諏訪湖をはじめとした恵まれた自然環境など、本市の地域資源を活用した観光誘客に取り組んでまいります。

働く環境の充実では、コロナ禍により若年層を中心に地方回帰、地方移住の機運が高まっている中、市内企業の採用力を強化するため、新たに**岡谷で働くU I J ターン採用強化支援事業**として、採用力向上セミナーの開催や、効果的な採用

活動を行うための個別相談の実施により、採用力の底上げを図るとともに、民間就職情報サイトの活用や採用活動のオンライン化への取組に要する経費を助成することで、市内企業の採用活動を後押しし、新規学卒者や第二新卒者のU I J ターン就職のほか、移住希望者の市内企業への就職を促進してまいります。

また、中高生を対象とした**若者未来の就職応援事業**では、新たに市内高等学校を会場とする高校生のための企業研究会を開催し、企業の情報発信や高校生が地元企業の活躍と魅力に触れることで、将来の地元就職を促進してまいります。

このほか、**働きやすい職場づくり応援補助金**では、女性や高齢者、障がい者、外国人など多様な人材の活躍促進として、手すりやスロープの設置、トイレや更衣室の整備、就業規則の見直しなど、働きやすい職場環境の整備に取り組む市内中小企業を支援することで、多様な人材の雇用促進と定着化を図ってまいります。

移住・定住の促進では、**岡谷へ行こう 関係人口等創出・拡大事業**として、岡谷駅構内に設置した「岡谷市観光案内所」を拠点としてサイクルツーリズム事業を拡充実施するほか、ワーケーションの受け入れに注力し、交流・関係人口の創出・拡大を図るとともに、移住・定住を促進してまいります。

おかやの魅力体験事業では、市内宿泊施設での短期の宿泊費用などに対する助成のほか、市内での最長2か月間の生活体験に必要な経費の一部を助成するなど、本市の暮らしやすさを実感できる機会を提供することで、定期的に岡谷市を訪れ、地域や地域住民と多様なつながりを持つ関係人口の創出に注力してまいります。

さらに、**若者おかや暮らし応援事業**として、近隣の大学等へ通う学生並びに29歳以下の勤労者が市内の民間賃貸住宅に居住する場合、その家賃に対する助成を行うことで若者の移住・定住を促進してまいります。

続きまして、基本目標『安全・安心で、自然環境と共生するまち』について説明申し上げます。

安全対策の推進では、**危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化**といたしまして、近年、台風や集中豪雨による被害が相次ぐ中、河川氾濫や浸水被害を未然に防ぐため、新たに**河川災害防止対策事業**として、市が管理する普通河川の河床整備や護岸改修などを行うほか、土砂や樹木によって流れが阻害されている河川の浚渫を計画的に実施する**河川緊急浚渫推進事業**に財源を重点配分して取り組んでまいります。

また、**林道施設災害復旧事業**として、令和3年8月の大雨によって被災した林道横河山線にあります小日向橋の架け替え工事及び菅の沢の林道復旧工事を実施し、災害からの一日も早い復旧をめざしてまいります。

このほか、**目切公園調整池機能強化事業**として、目切公園調整池から十四瀬川までの間の市道へ排水用のバイパス管を敷設することで機能強化を図り、下流域の安全を確保してまいります。

計画的に進めております**ため池整備事業**では、長野県により「防災重点農業用ため池」に指定されている市内7箇所のため池のうち、川岸三沢にあります蟹沢下ため池の改修工事に向けた実施計画及び除ケ入ため池の廃止工事を実施することで、地域住民の安全・安心を確保してまいります。

さらに、**我がまち守る防災資機材緊急整備事業**として、激甚化・頻発化する自然災害に備え、災害時の応急対応や避難所開設に必要な防災資機材の充実を図るほか、**防災情報等発信強化事業**として、防災情報の迅速かつ確実な発信を図るため、大雨警報などの気象情報や地震情報が発表された後、直ちに「メール配信@おかや」で発信する自動配信機能及びSNS連携機能の付加のほか、緊急速報メールの配信キャリアを追加してまいります。

また、消防団員の処遇を改善するため、出動報酬を条例に位置づけ額の引き上げを行うほか、消防団装備の充実と地域防災力の強化を図るため、消防団に配備しております消防団車両を引き続き計画的に更新してまいります。令和4年度につきましては第6分団にポンプ車を配備し、将来発生が予想されております大規模地震や自然災害への備えと地域の安全・安心を確保してまいります。

生活安全対策の推進といたしましては、**特殊詐欺対策機器設置補助金**として、対策機器の設置に要する経費の一部を助成することで、特殊詐欺や悪質な電話

勧誘販売を初期段階で防止し、市民の財産を守るとともに犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進してまいります。

また、**蛍光灯型防犯灯LED化促進事業**として、各区等が行う防犯灯のLED化をさらに促進し、夜間における安全・安心を確保するとともに、二酸化炭素排出量の削減による地球温暖化対策を推進してまいります。

環境保全の推進では、「第4次岡谷市環境基本計画」に掲げる望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現をめざすとともに、健全で恵み豊かな環境を将来世代へ引き継ぐため、各種施策を展開してまいります。

自然環境の保全といたしましては、「第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画」を基本として、エコドライブに取り組む市内事業所の登録や地球温暖化防止セミナー、小中学生を対象とした環境教育などにより、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた啓発事業に取り組むほか、新たに**蓄電システム導入補助金**として、個人住宅に太陽光発電システムと同時に設置する蓄電システムの導入経費の一部を助成することで、再生可能エネルギーの利用促進と二酸化炭素排出量の削減を図ってまいります。

生活環境対策の推進といたしましては、新たに**おかや3R探検隊事業**として、樋沢一般廃棄物最終処分場、諏訪湖周クリーンセンターなどにおけるごみの処理工程の見学を通じて、ごみ減量や3Rの推進などに対する市民の意識啓発を図ってまいります。

また、少子高齢化や核家族化などの社会情勢の変化によって墓地に対するニーズが多様化している中、平成29年度に整備した合葬式墓地「嶺風苑」は、現在空きがない状況であるため、隣接地に新たに整備し、令和4年度中に募集を開始してまいります。

居住環境の充実では、**空き家対策事業**として、空き家の除却費用に対する補助、空き家バンク制度のさらなる活用促進に努めるほか、増加する空き家の有効活用により地域の活性化を図るため、一定の条件を満たす空き家を活用する事業者に対して、その事業を行うための改修費用の一部を助成してまいります。

また、**空き家バンク移住・田舎暮らし応援事業**として、空き家を購入し市外から転入した場合に、空き家の改修費に対する助成とあわせて移住奨励金を交付

することで、新しい人の流れを呼び込み、移住・定住につなげるとともに、住環境の向上による安全・安心の確保と景観の保全を図ってまいります。

さらに、耐震診断及び耐震改修に要する経費を助成する**住宅防災・減災事業**については、新たに耐震性のない住宅の現地建替えに要する経費を補助対象経費に加え、住宅の耐震化をさらに促進してまいります。

このほか、市営住宅においては、**老朽団地住替事業**として廃止の方針としている老朽化が著しい市営住宅の入居者に対し、移転費用を補償するとともに、移転後の家賃については従前の家賃に据え置くことで住み替えを促し、入居者の安全確保と住環境の向上を図るほか、**高尾T市営住宅の外壁等防水改修**を行い、市営住宅の維持保全と長寿命化を図ってまいります。

続きまして、基本目標『快適な生活を支え、住み続けたいまち』について説明申し上げます。

計画的土地利用の推進では、**都市公園施設長寿命化推進事業**として、「第2期岡谷市公園施設長寿命化計画」に基づき、誰もが楽しく快適に、安全で安心して利用できる公園整備を推進することとし、令和4年度は岡谷湖畔公園のジョギングロードの整備、鳥居平やまびこ公園のサマーボブスレーの修繕のほか、まちなかに憩いとにぎわいの場を創出するため、蚕糸公園のリノベーション整備を進めてまいります。

また、長野県及び諏訪湖周3市町の連携による**諏訪湖周サイクリングロード整備事業**として、岡谷市管理区間のうち市民総合体育館南側から塚間川先までの整備工事等を実施し、諏訪湖の景観を活かしつつ観光や健康づくりなど、多様な目的を持ち集うすべての人が、安全で快適に自転車を利用できる環境づくりを進めてまいります。

都市基盤の整備では、**幹線道路と交通網の整備**といたしまして、県事業であります**地域幹線道路整備事業**により、主要地方道下諏訪辰野線（岡谷川岸線）の川岸小学校前から観音橋までの間の整備工事に向けた用地買収、物件調査等に着手してまいります。

また、諏訪湖サービスエリアへの**仮称・諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業**として、地域産業の発展、市民生活の利便性の向上や地域のさらなる活性化等を図るため、地元対策委員会並びに国、長野県、諏訪市、NEXC O中日本等と連携を図りながら事業を推進してまいります。令和4年度はアプローチ道路の築造工事を行い、令和5年度末の供用開始をめざしてまいります。

生活道路の整備といたしましては、交通量の多い主要幹線道路や身近な生活道路を中心に計24箇所、総延長約5.5kmにおよぶ舗装の維持補修及び劣化が軽微な段階で修繕を講じる予防保全型の維持補修に努めてまいります。

また、**生活道路安全対策事業**として、ゾーン30の指定をしております西堀区内の103号線（西堀通り線）において実施した実証実験などの効果検証、解析の結果を踏まえ、より効果的な安全対策を講じ、交通事故の発生抑制と地域の安全確保につなげてまいります。

さらに、**大型道路案内標識点検事業**として、道路利用者の安全かつ円滑な道路

交通の確保を図るため、国土交通省の点検要領に基づき、市内13基の大型道路案内標識の点検を実施してまいります。

橋梁維持補修事業では、これまでに実施してまいりました道路法に基づく定期点検の結果を踏まえ、洩矢跨線人道橋及び橋原跨線人道橋の改修に向けた設計を行うほか、16箇所の橋梁点検を実施することで、安全性の確保と将来的な維持管理コストの削減を図ってまいります。

上下水道の維持・整備といたしまして、**水道事業**では、「岡谷市水道事業経営戦略」及び「岡谷市水道事業基本計画」に基づき、将来を見据えた経営基盤の強化を図りつつ、老朽化が進む**水道施設の再構築事業**として、河原口水源の改造事業を進めるほか、**水道施設の更新・耐震化**を計画的に進め、安全で安心なおいしい水を将来にわたり安定的に供給してまいります。

下水道事業では、「岡谷市下水道事業経営戦略」をはじめとする各種計画を基本として、予防的修繕を行う**下水道ストックマネジメント（長寿命化）事業**のほか、**下水道総合地震対策事業**により災害に強い施設整備を推進してまいります。

また、**下水道雨水渠整備事業**として、諏訪信用金庫本店から県道檜川岡谷線までの間の山下幹線における雨水渠整備を令和5年度の完了に向けて進め、浸水被害の軽減を図り、市民の安全な暮らしの確保に努めてまいります。

続きまして、基本目標『みんなでつくる、確かな未来を拓くまち』について説明申し上げます。

地域コミュニティの振興では、活力ある地域創生を進めるため、企画政策部内の組織を改正して、新たに「**地域創生推進課**」を設置し、本市のまちづくりのより一層の推進と、移住・定住など、地方への新たな人の流れを呼び込めるよう取組を強化してまいります。

また、**高校生まちづくり推進事業**として、近い将来、岡谷市を担う高校生が、岡谷市の今を知るとともに岡谷市の将来を考え、自ら行動する機会を創出するほか、地域の方々と関わりながらまちづくりに携わることで、岡谷市への愛着を育み、Uターンの足がかりとしてまいります。

さらに、**旧岡谷市役所庁舎保全プロジェクト**として、市民並びに岡谷市の財産であります旧岡谷市役所庁舎の適正な保全を図り、後世に継承するため安全対策及び長寿命化対策を講じてまいります。令和4年度は施設の現状を把握するための老朽度調査を行ってまいります。

市政運営の推進では、本市のまちづくりの指針を明らかにし、計画的な行政運営を推進するため、令和6年度を初年度とする「第5次岡谷市総合計画後期基本計画」の策定に着手することとし、令和4年度は市民アンケート等により幅広く市民意見の聴取を行い、新たな計画の策定につなげてまいります。

また、**公有財産の適量・適正化**といたしましては、**公共施設等総合管理計画推進事業**として、「岡谷市公共施設個別施設計画」に基づき、計画的な維持管理、修繕、更新等を進め、少子高齢化、人口減少時代に見合った公共施設の最適化と長寿命化を推進してまいります。

このほか、**ふるさと寄附金 寄附促進事業**では、市内事業所等の協力により、返礼品のさらなる充実と積極的なPRを進め、財源の確保とあわせて本市の魅力発信と知名度向上に努めてまいります。

I C T（情報通信技術）利活用の推進といたしましては、新たに「**D X推進担当**」を設置し、**自治体D X推進事業**として、マイナンバーカードを利用した行政手続きのオンライン化、自治体情報システムの標準化・共通化を進めてまいります。

このほか、**L I N E公式アカウントの導入**による情報発信の強化やキャッシ

ユレス決済の導入などにより、利用者目線で業務の改善・効率化を図るとともに、行政サービスに係る市民の利便性のさらなる向上につなげてまいります。

以上、令和4年度予算編成の概要を説明申し上げます。

今、岡谷市は、人口減少・少子高齢化に加え、感染症の拡大防止と社会経済活動の両立、令和3年8月の大雨災害からの一日も早い復旧復興という、克服すべき大きな課題に直面しています。

しかしながら、このようなときだからこそ、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、心に寄り添い、ともに協力しながら挑戦を続けることで、希望に満ちた明るい未来が拓けるものと信じております。

令和4年、今年の一文字として「生」という漢字を選びました。感染症の拡大や大雨災害により、市民生活や地域経済に大きな影響が及んでおりますが、このような状況にあっても、すべての市民の皆様、市を支えるすべての産業、そして岡谷市が、ともに将来のまちに大きな夢と希望を持って生きていく。この地に根を張り、力強く生き抜いていくことで地域の元気を創り出し、岡谷市の創生に向け加速していく。こうした思いを胸に、市民誰もが安全で安心して、健康で生きがいを持って暮らすことができ、このまちに住み、働くことに誇りと自信、そして、愛着を持てるまち、そんな「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現と、申し上げますました施策、事業について、積極果敢に取り組んでまいりたいと決意をしております。

岡谷市のさらなる発展と市民福祉の向上に向けてより一層努力を積み重ね、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人々に活躍の場と生きがいがあり、生活に彩りと潤い、そして楽しみがあって、しあわせを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える、満足度の高い岡谷市を市民の皆様とともに創り上げてまいります。

議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の所信の一端といたします。